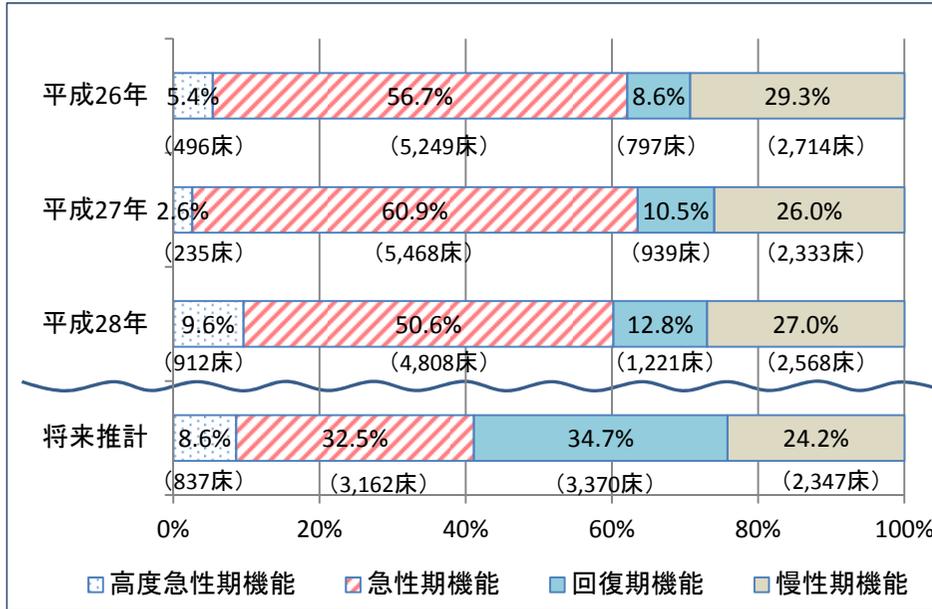
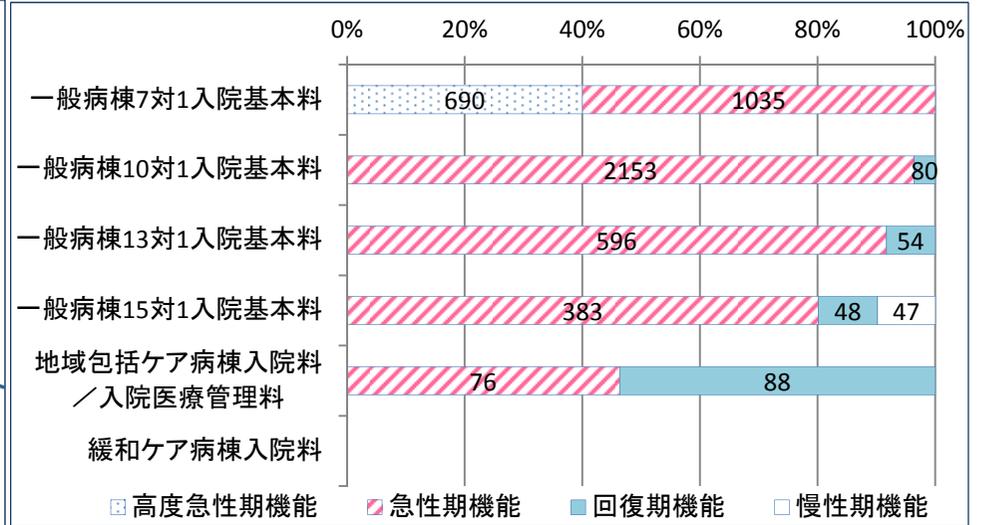


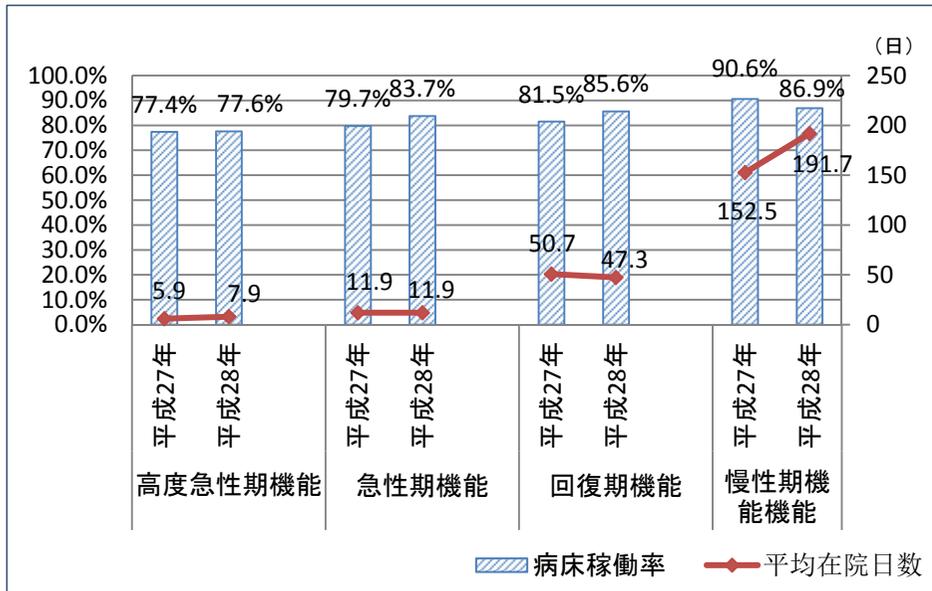
①4機能別病床数の推移(平成26年度～平成28年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度・平成28年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	1417	12	38	56
急性期機能	5790	236	425	393
回復期機能	322	18	52	57
慢性期機能	200	6	24	38
	74.6%	2.2%	9.0%	14.2%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 60.7%

- ①H27からH28にかけて、高度急性期機能の増(7:1病床の増)、回復期機能の増(一般病棟特別入院料病床の増)
- ②急性期・回復期機能において、平均在院日数維持/短縮で、病床稼働率が上がっている。
- ③地域包括ケア病棟では、急性期機能と回復期機能の報告がほぼ均衡
- ④全機能で、退院後の在宅医療実施予定が不明という割合が都平均を下回る